



医薬品在庫の見直しが無事終了しました

毎年救急の日(9月9日)に行っている救急薬品セット、外来ストック、病棟ストック及び昨年度から運用開始しました、内服・外用薬の病棟配置薬の見直しが無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

注射薬につきましては、夜間休日は原則として病棟在庫から使用することになっておりますので、これらを十分ご活用下さい。

ただし特定生物由来製品(血液製剤)を使用する際には、ロット管理の徹底をお願いします。なお、外来及び病棟に在庫している毒薬・向精神薬は盗難を防ぐため、厳重に管理して下さい。

また、内服・外用薬の病棟薬補充のためのオーダ化も現在検討中です。

「禁忌」、「効能・効果」、「用法・用量」変更のお知らせ

◎アイリーア硝子体内注射液 40mg/mL(一般名:アフリベルセプト(遺伝子組換え))<眼科用VEGF阻害剤>

【効能・効果】網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫

【用法・用量】1回2mg(0.05mL)を硝子体内投与。投与間隔は、1ヵ月以上あけること。

◎アーチスト錠 2.5mg・10mg(一般名:カルベジロール)<慢性心不全治療剤、(頻脈性心房細動治療剤、持続性高血圧・狭心症治療剤(10mg錠のみ))>

【効能・効果】頻脈性心房細動

【用法・用量】1回5mgを1日1回投与開始、効果が不十分な場合、10mgを1日1回、20mgを1日1回へ段階的に増量。適宜増減。最大投与量は20mgを1日1回まで。

◎イメンドカプセル 80・125mg(一般名:アプレピタント)<選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤>

【禁忌】成分又はホスアプレピタントメグルミンに対し過敏症の既往歴のある患者

◎クラビット錠 500mg(一般名:レボフロキサシン水和物)<広範囲経口抗菌製剤>

【効能・効果】<適応症>肺結核及びその他の結核症

【用法・用量】1回500mgを1日1回。適宜減量。原則として他の抗結核薬と併用。

◎トリーバ注 フレックスタッチ(一般名:インスリン デグルデク(遺伝子組換え))

【用法・用量】小児では、1日1回皮下注射。注射時刻は毎日一定とする。投与量は適宜増減。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1日0.5~1.5単位/kg。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

◎ブイフェンド錠 50・200mg、200mg静注用(一般名:ポリコナゾール)<深在性真菌症治療剤>

【効能・効果】造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防

◎ペグイントロン皮下注用50 μ g/0.5mL用、100 μ g/0.5mL用(一般名:ペグインターフェロン アルファ-2b)

【効能・効果】悪性黒色腫における術後補助療法

【用法・用量】8週目までは1回6 μ g/kgを週1回、9週目以降は1回3 μ g/kgを週1回皮下投与。投与に際しては、患者の状態を考慮し、減量、中止等の適切な処置。

◎ レミケード点滴静注用 100 (一般名:インフリキシマブ) <抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤>

【効能・効果】腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病

【用法・用量】体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注。初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の間隔で投与を行う。なお、6週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合、体重1kg当たり10mgを1回の投与量とすることができる。

医薬品・医療機器等安全性情報 No.326

★ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査事業について

厚生労働省では、ワクチン接種と乳幼児の突然死との関連について検討するため、平成24年12月より前向きな症例対照研究として全国疫学調査を実施している。本調査事業の概要について紹介する。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>) から入手可能。

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ

オーダ開始日	緊急購入薬	対象診療科
2015年9月14日	フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用	呼吸器・感染症内科、一般内科

投与期間制限解除のお知らせ

◎アレセンサカプセル 20mg・40mg (一般名:アレクチニブ塩酸塩) <抗悪性腫瘍剤>

◎カナグル錠100mg(一般名:カナグリフロジン水和物) <SGLT2阻害剤>

◎ザイティガ錠250mg(一般名:アピラテロン酢酸エステル) <前立腺癌治療剤>

◎シダトレンスギ花粉舌下液200JAU/mLボトル・2000JAU/mLボトル・2000JAU/mLパック

(一般名:スギ花粉エキス) <スギ花粉症の減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬> [緊急購入薬]

◎ジャカビ錠 5mg(一般名:ルキソリチニブリン酸塩) <抗悪性腫瘍剤>

◎スンベプラカプセル 100mg(一般名:アスナプレビル) <抗ウイルス剤>

◎ダクルインザ錠 60mg(一般名:ダクラタスビル塩酸塩) <抗ウイルス剤>

◎クレナフィン爪外用液 10%(一般名:エフィナコナゾール) <爪白癬治療剤> [緊急購入薬]

◎ドボベツ軟膏(一般名:カルシポトリオール水和物/ベタメタゾンジプロピオン酸エステル)

<尋常性乾癬治療剤>

薬価収載後1年が経過したため、2015年10月1日から投与期間制限が解除され長期投与可能。

貯法・使用期限の変更に関するお知らせ

	変更前	→	変更後
ブレオ注射用 15mg	室温保存 2年	→	2~8℃で保存 3年 (ロット番号: 951800 より変更)
レギチーン注射液 10mg	室温保存	→	2~8℃で保存 (製造番号: P0035A より変更)

販売移管のお知らせ

薬剤名	変更前		変更後
アストミン錠 10mg	アステラス製薬	→	オーファンパシフィック
ダントリウムカプセル 25mg・静注用 20mg			
スキサメトニウム注 40「AS」		→	丸石製薬
エリスロシン錠 100mg、ドライシロップ 10%	アボット ジャパン	→	マイラン EPD
クラリシッド錠 200mg			
ホクナリンテープ 2mg			
メルカゾール錠 5mg	中外製薬	→	あすか製薬

包装変更のお知らせ

- ◎アモキシシリンカプセル 250mg「日医工」(一般名:アモキシシリン)〈合成ペニシリン製剤〉
- ◎カロナール錠 200(一般名:アセトアミノフェン)〈解熱鎮痛剤〉
GS-1 コード追加
- ◎アリクストラ皮下注 1.5、2.5、7.5mg(一般名:フォンダパリヌクスナトリウム)〈合成 Xa 阻害剤〉
- ◎アリムタ注射用 100mg、500mg(一般名:ペメトレキセドナトリウム水和物)〈代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤〉
- ◎アルケラン錠 2mg、静注用 50mg(一般名:メルファラン)
〈錠:抗多発性骨髄腫剤、静注用:造血幹細胞移植前処置剤〉
- ◎アルツディス関節注 25mg(一般名:ヒアルロン酸ナトリウム)〈関節機能改善剤〉
- ◎イムラン錠 50mg(一般名:アザチオプリン)〈免疫抑制剤〉
- ◎スルバシリン静注用 1.5g(一般名:スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム)
〈β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤〉
- ◎ファンギゾンシロップ 100mg/mL(一般名:アムホテリシン B)
〈ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤〉
- ◎フロモックス錠 100mg(一般名:セフカペン ピポキシル塩酸塩)〈経口用セフェム系抗生物質製剤〉
ラベル(シート)デザインの変更
- ◎大塚生食注(250mL プラボトル)〈生理食塩液〉
・ゴム栓の色調(やや淡い灰色に)、形状(ゴム栓の厚さ:4.2mm→5.7mm(中心部は5.2mm))の変更
・混注穴と瓶針穴が区別できるように穿刺穴の1つが菱形マークに変更
- ◎チザニジン錠 1mg「日医工」(一般名:チザニジン塩酸塩)〈筋緊張緩和剤〉
PTPシートのサイズの変更(91×32mm→94×37mm)、デザインの変更
- ◎ディフェリンゲル 0.1%(一般名:アダパレン)〈尋常性ざ瘡治療剤〉
GS-1 コード追加、社名ロゴの変更
- ◎フォトリン静注用 75mg(一般名:ポルフィマーナトリウム)〈光線力学的療法用剤〉
バイアルキャップの刻印(FLIP OFF)の廃止
- ◎ラコール NF 配合経腸用液〈経腸栄養剤〉
(200mL パウチ製品)「フレーバー名」と「あけくち」を表示、容器サイズ(115×163mm→110×160mm)の変更
(400mL バッグ製品)「フレーバー名」表示

オーダ中止のお知らせ

オーダ中止日	薬剤名	理由
2014. 8. 25	バナンドライシロップ 5%	在庫がなくなったため
	親水軟膏	販売中止のため
	トレリーフ錠 25mg	トレリーフ OD 錠 25mg 採用のため
	エルカルチン錠 100mg	エルカルチン FF 錠採用のため
2015. 8. 27	キロサイド N 注 400mg	キロサイド N 注 1g/50mL 採用のため
2015. 9. 17	アプレース錠 100mg	ペンタサ坐剤採用のため